

第1学年4組社会科（地理的分野）学習指導案

平成27年10月27日(火)

第5校時 1年4組 32名

授業者 教諭 小谷 勇人

1 単元名 「世界の諸地域」 オセアニア州

2 単元について

(1) 教材観

本単元は、学習指導要領の地理的分野（1）世界の様々な地域 ウ 世界の諸地域 内容の取扱い ウにおいて以下のように位置づけられている。

ウ ウについては、州ごとに様々な面から地域的特色を大観させ、その上で主題を設けて地域的特色を理解させるようにすること。その際、主題については、州の地域的特色が明確となり、かつ我が国の国土の認識を深める上で効果的であるという観点から設定すること。また、州ごとに異なるものとなるようにすること。

「州ごとに様々な面から地域的特色を大観させ、その上で主題を設けて地域的特色を理解させるようにすること」から、本校で使用している教科用図書における、各州の学習テーマの記述内容と学習指導要領の主題例を以下の通り一覧表にまとめてみた。

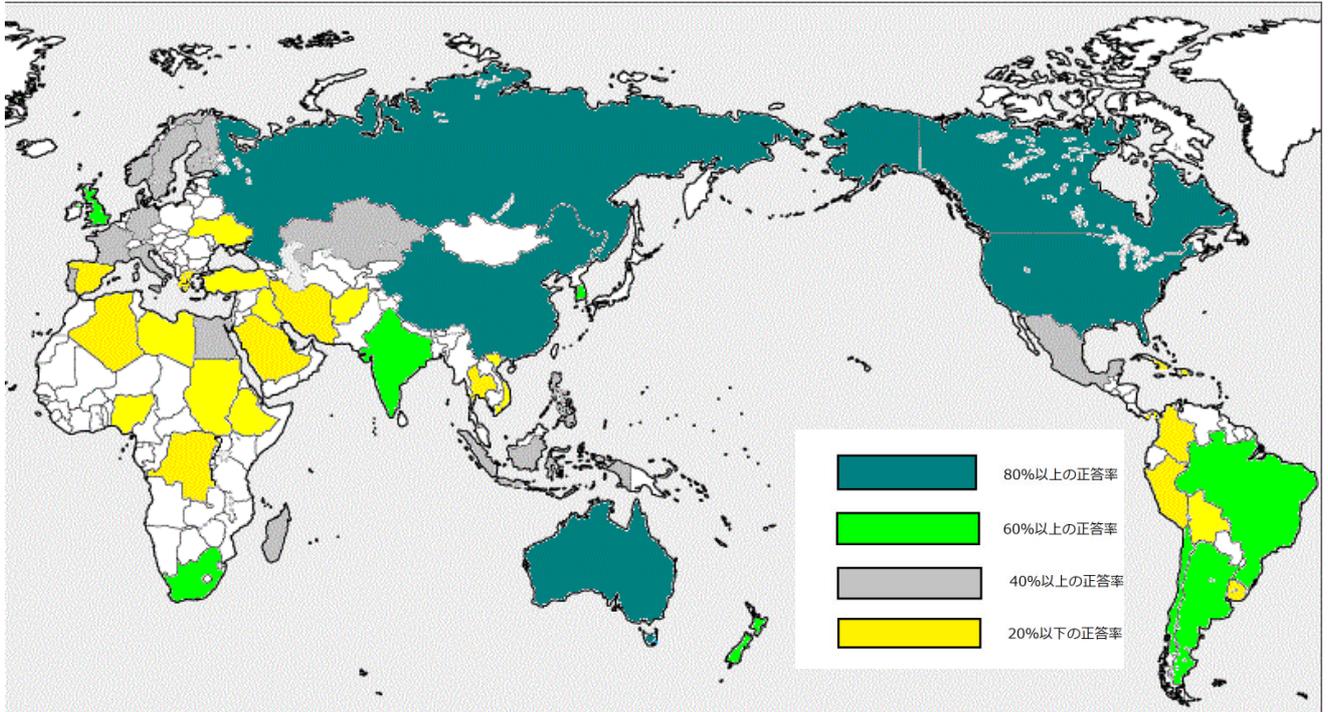
| 州名 | 学習テーマの記述内容（本校使用教科用図書） | 主題例（学習指導要領） |
|--------|---|---------------------|
| アジア州 | 「アジアでは、 急速な成長 がどのように進んできたのでしょうか。」 | 人口急増と多様な民族・文化 |
| ヨーロッパ州 | 「ヨーロッパの国々は、 国家間の統合 によってどのように変化したのでしょうか。」 | EUの発展と地域間格差 |
| アフリカ州 | 「農業や鉱業が 産業 の中心であるアフリカは、どのように変化しているのでしょうか。」 | モノカルチャー経済下の人々の生活 |
| 北アメリカ州 | 「北アメリカでは、どのような 産業 がさかんなのでしょうか。特に、世界の超大国アメリカに注目して考えてみましょう。」 | 大規模農業と工業の発展 |
| 南アメリカ州 | 「南アメリカでは 開発 が進んだことにより、環境にどのような変化が起こったのでしょうか。」 | 森林破壊と環境保全 |
| オセアニア州 | 「オセアニアとアジアの 結びつき はどのように強くなってきたのでしょうか。」 | アジア諸国との結びつき（＝貿易面含む） |

私は、一覧表の黒太字で示した箇所では、貿易相手国や輸出品の内訳に関わるグラフの読み取り、地域別GDPや工業生産額の割合の変化の主題図など生産活動に関わる統計資料の読み取りを重点的に行い、地理的技能を確実に習得すべき箇所であるとした。

「州ごとに様々な面から地域的特色を大観させ」と学習指導要領にあるが、私は、この「様々な面」は、社会的事象を多面的・多角的にみることであり、生産活動の面から主題に迫るだけではなく、地形や気温・降水量など環境に関する面からも迫ることと捉える。地理の学習は、人々が築き上げてきた文明や文化の息づかいを感じられるものであり、自然地理的な見方・考え方と人文地理的な見方・考え方の双方から、その地理的事象の特色を的確に捉えることが大切であると、私は考える。

(2) 生徒の実態 (世界の50ヶ国テストの結果から)

生徒が国名やその国の位置をどれだけ理解しているかを夏季休業日明けのテストとして調査した。世界の面積の上位の国や、日本と貿易等で関わりが大きい国や、ウクライナ等の時事問題としてあげたい国を考慮し、中学校1年次において覚えさせたい世界の国50ヶ国を抽出した。今回は、①アジア州…14ヶ国 ②ヨーロッパ州…13ヶ国 ③アフリカ州…9ヶ国 ④北アメリカ州…5ヶ国 ⑤南アメリカ州…7ヶ国 ⑥オセアニア州…2ヶ国を取り上げた。具体的な国の位置については、次の地図を参照していただきたい。



| | 国名 | 正答人数・率 | | 国名 | 正答人数・率 |
|--------|----------|----------|---------|---------|---------|
| Best1 | ロシア連邦 | 118人=89% | Worst1 | エチオピア | 26人=21% |
| Best2 | オーストラリア | 112人=88% | Worst2 | スーダン | 29人=24% |
| Best3 | 中華人民共和国 | 111人=83% | Worst2 | アフガニスタン | 29人=24% |
| Best4 | アメリカ合衆国 | 102人=81% | Worst4 | リビア | 31人=25% |
| Best5 | カナダ | 101人=80% | Worst4 | イラク | 31人=25% |
| Best6 | チリ | 99人=77% | Worst6 | ナイジェリア | 32人=26% |
| Best7 | ブラジル | 98人=71% | Worst7 | トルコ | 33人=27% |
| Best7 | 大韓民国 | 98人=65% | Worst8 | ボリビア | 34人=28% |
| Best9 | ニュージーランド | 87人=63% | Worst8 | ウクライナ | 35人=28% |
| Best10 | アルゼンチン | 86人=62% | Worst10 | ベトナム | 34人=29% |

(調査人数 中野中学校1年生 123人 平均回答数 23.53ヶ国/50ヶ国)

今回の調査(夏季休業日明けのテスト)の結果で、正答率の高い国は、面積の大きさが上位であったり、ニュース等で良く見聞きしたりする国、島国である国であった。一方、正答率が低い国は、アフリカ州の国々の正答率が顕著に低いという実態が分かった。また、アジア州の中でも中央アジア、東南アジアや西アジアの国々の正答率は低かった。このことを踏まえ、私は、生徒の実態を意識した指導内容の工夫や履修の順序を工夫する必要があると考えた。

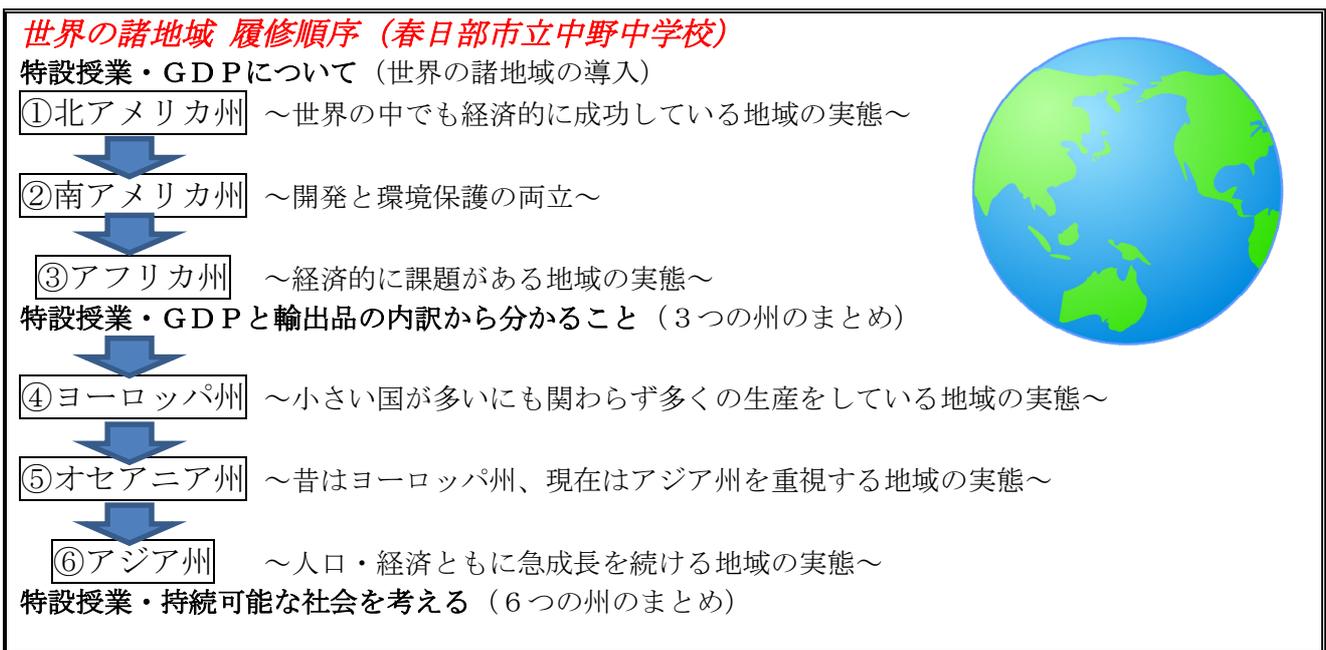
(3) 指導観

①世界の諸地域の履修順序について

世界の諸地域学習は、学習指導要領では、「主題学習」を行い、各州に注目する際の視点を変えてメリハリのある学習展開とするようにしている。また、その主題については「州ごとに異なるものとなるようにすること」とある。

生徒の理解を進めるために、世界の諸地域学習の履修の順序を教科書の記載順にとらわれずに見直しを図り、生徒の実態と各州の地域的特色に即した履修順を検討し、実践を積み重ねることとした。教科書ではアジア州⇒アフリカ州の順で示されることが多いが、正答率の低かったアジア州を最後にもっていき、同じく正答率の低かったアフリカ州は、正答率の高かった北・南アメリカ州の学習した後に履修することとした。

また、正答率が低かった州は、概してGDPが低く、わずかな種類の商品作物や鉱産資源の輸出に頼るなど、経済面での課題や政治面における問題が起きている地域であることが多い。そこで、本実践では、「主題学習」を通して州の地域的特色を捉えつつ、その国のGDPや一人あたりGDP、輸出品の内訳等の統計資料を読み取る活動を、各州の学習で積み重ねていくことにした。本校で実施する履修の順序と主な主題、特設授業のテーマは、以下の通りである。



また、州と州をつないで、世界の諸地域学習を一貫性のあるものとするために、特設授業を設定した。特設授業では、GDPや輸出品の内訳の読み取り作業を中心として、それぞれの地域の経済の実態を中心に学習を計画した。特設授業の前半部分は、3つの州を学習した後に設けた。GDPや輸出品の内訳から見える先進国と発展途上国との経済的な格差を浮かび上がらせた。特設授業の後半部分は、6つの州をすべて学習した後に設けた。時代の流れを見据えて、その地域がどのように変わろうとしているか、持続可能な社会について考えるという学習を行った。

本単元のオセアニア州の学習の履修順は、最後から2番目とした。これは、ヨーロッパ州とアジア州との関わりの中から、オセアニア州の地理的特色を捉えることにした。また、本時の授業はオセアニア

州の学習で追究するテーマ（学習問題）を、生徒主体としてどのように組み立てられるかを提案する授業としたい。州の学習での導入の場面は、今までの授業では、白地図で自然地理的な事項を網羅的に覚える作業を行っていたが、生徒が心躍るような導入として、「オーストラリア体験セット」を活用して、生徒自ら「こんなテーマを追究して調べたい」と思うような学習課題をつくり、課題解決に向けた学習を進めていこうと考えている。

②「オーストラリア体験セット」について

「オーストラリア体験セット」は、豪日交流基金が製作した学校用教材で、日本の児童生徒がオーストラリアについて学び、異文化理解を深めることを目的としたものである。埼玉県では、2007年から財団法人埼玉県国際交流協会、さいたま市教育委員会、埼玉県総合教育センターにおいて貸し出しが可能となっている。豊富な実物資料、拡大された写真や国旗などの掲示資料、作業的・体験的な学習の時間のBGMとしても活用できるオーストラリアの牧歌的な音楽が入ったCDなど多くのセットからなる。オーストラリアを大観する学習には有効に活用できる教材である。本時は、「オーストラリア体験セット」を生徒が自ら学習課題をつくる際に活用する。

3 研究主題「追究する力を育てる社会科学習～主体的・協働的に学ぶ学習の充実～」との関わりについて

この主題は、平成29年度関東ブロック中学校社会科研究発表大会埼玉大会の大会主題である。この研究のねらいは、「社会に対する関心をもって主体的に課題をとらえ、適切に情報を収集して活用し、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現するとともに、他者とのかかわりの中で思考を深め、公正に判断できる生徒を育てること」である。これを受け、本研究で着目していることを以下のように整理した。本時では、下線を引いた部分に注目して実践を行う。

| 学習の過程 | 各学習の過程における具体的な「生徒の姿」 | 「生徒の姿」を支える能力 |
|----------------------|---|---|
| 課題を見いだす | <u>社会に関心をもち、主体的に課題を見いだそうとしている。</u> | 社会への関心 課題発見力 |
| <u>情報の収集・加工と読み取り</u> | <u>適切に情報を収集、加工したり、正確に資料を読み取ったりしている。</u> | 情報を収集する技能 情報を活用する技能 |
| 考 察 | 事象を多面的・多角的に考察している。 | 多面的・多角的な思考力 |
| 表現・発信 | 考察した過程や結果を適切にまとめたり、説明したりしている。 | 表現力 論理的な思考力 |
| <u>意見交換・討論</u> | <u>他者と適切に意見交換したり、討論したりして、思考を深めている。</u> | <u>コミュニケーション能力</u> 批判的な思考力 コラボレーション能力 |
| 判断（実践へ） | 多面的・多角的に考察した結果を基に、公正な判断に努めている。 | 判断力、意思決定力 公正に判断しようとする態度 |

4 単元計画 (オセアニア州 ver)

| 時 | ねらい・学習活動等 | 評価の観点 | | | | ○◇□☆ 評価規準 |
|---|--|-------|---|---|---|--|
| | | 関 | 思 | 技 | 知 | |
| 1 | <p>【ねらい】 オセアニア州の概要をつかみ、意欲的に追究できる学習問題をつくり、関心を高める。</p> <p>・オセアニア州の自然、文化、産業の特色について、資料から概観する。</p> <p>・人口分布と降水量を比較する作業から、オーストラリアの地域的特色をとらえる。</p> | ○ | | □ | | <p>○オセアニア州への関心を高め、自ら追究したい課題をつくっている。</p> <p>□トレーシングペーパーを用いた、人口分布を比較する作業から、オーストラリアの地理的特色をとらえている。</p> |
| | <p>＜本時のGDP等調べ＞ オーストラリア 着目点 一人あたりGDPの高さ</p> <p style="text-align: center;"></p> <p>中単元を貫く課題：「なぜオセアニア州は、アジア州との結びつきを強めようとしたのか。」</p> | | | | | |
| 2 | <p>【ねらい】 オーストラリアの産業には、どのような特色をもっているのかを調査させる。</p> <p>・オーストラリアの産業の特色をとらえ、輸出入相手国の変化から産業構造の変化を理解する。</p> | | | | ☆ | <p>☆オーストラリアの産業の特色を理解し、流れの中で産業構造の変化について知っている。</p> |
| | <p>＜本時のGDP等調べ＞ ニュージーランド 着目点 輸出品の内訳</p> | | | | | |
| 3 | <p>【ねらい】 オーストラリアは、移民が多いことからどのような国づくりを目指しているのかを調査させる。</p> <p>・移民の増加を歴史や人々の交流から考察し、その理由をとらえる。</p> <p>・多文化社会とはどのような社会であるのかを理解する。</p> | | ◇ | | ☆ | <p>◇移民の変化の資料からアジア州の移民が増えている理由を説明できる。</p> <p>☆多文化社会について理解している。さらにメリットとデメリットも理解している。</p> |
| | <p>＜本時のGDP等調べ＞ ツバル 着目点 輸出品の内訳</p> | | | | | |

5 本時の学習 (1 / 3)

(1) 目標

- ・オセアニア州への関心を高め、自ら追究したい課題を考える。【関心・意欲・態度】
- ・トレーシングペーパーを用いた、人口分布を比較する作業から、オーストラリアの地理的特色をとらえる。【技能】

(2) 展開

| | ○主な学習活動・学習内容 | ・教師の支援と指導上の留意点 ◎評価 ☆研究主題(関ブロ)との関わり | ●資料 |
|-------|---|--|---------|
| 活動の開始 | ○オーストラリアの GDP、一人あたりGDP、輸出品の内訳を調べる。 …教科書・地図帳の統計資料から読み取る。一人あたり GDP が日本に近いことをつかむ。 | ・調べたことが授業の中で関わる時があることを補足する。オーストラリアは鉱産資源の輸出が豊富であるので、その後の授業の中で関わらせる。 | ●ワークシート |

| | | | |
|---------------------------------------|--|---|--|
| <p>10分</p> | <p>○オセアニア州の全体像をつかむ 「これはオセアニア州だろうか」 …1問1答の○×クイズを行う (例・タヒチの写真)</p> <p>○本時の課題をつかむ。</p> | <p>・オセアニア州に関するクイズを行い、オセアニア州の学習に対して興味・関心を高めさせる。</p> <p>・課題を設定し、どんな資料を使えば学習課題を追究できるか、考えさせることで授業に関心をもたせる。 ☆「学習の過程 課題を見いだす」との関わり</p> | <p>●プレゼンテーションソフト 『これはオセアニア州だろうか』</p> |
| <p>〈学習課題〉オセアニア州はどのような地域であるのか調べよう。</p> | | | |
| <p>活動の展開 ① 28分</p> | <p>○トレーシングペーパーで事前に作成したオーストラリアの降水量の資料を元に、比較しながら考える。 その成果を「オーストラリアはこのような地域に違いない」という形で予想を発表する。 小集団</p> <p>○数班がまとまったことを発表する。 全体</p> <p>○まとめとして、動画を視聴する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>～動画から分かること～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・島大陸…面積小（日本の20倍） ・年間降水量少 ・東部は温暖 ・西部は乾燥 「エアーズロック」 </div> <p>○「オーストラリア体験セット」を中心とした実物資料や統計資料、写真資料の中から気になった資料を手にとってメモをする。 個人</p> | <p>〈発問〉オーストラリアの人口分布について作業を通して読み取ろう。</p> <p>・既習の気温と降水量が人々の生活や文化と関わっていることを思い出させて考えさせる。</p> <p>◎トレーシングペーパーを用いた、人口分布を比較する作業から、オーストラリアの地理的特色をとらえている。【技能】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>Bの評価に達しない生徒（グループ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オーストラリアの沿岸部と内陸部の人口分布の偏りについては個別に指導をして気づかせる。 </div> <p>・机間指導を通して、良い意見を書けている班の発表担当に発表させ、その後まとめる。</p> <p>・教師は簡単に動画から分かることを黒板にメモの形で残す。</p> <p>・ここでは手に取った資料がどのようなものなのかを詳しく解説せず、本時はあくまで生徒に疑問を残させるようにする。 ☆「学習の過程 情報の収集・加工と読み取り」との関わり</p> | <p>●ワークシート</p> <p>●ワークシート</p> <p>●動画 『オーストラリアのあらまし』</p> <p>●実物教材 ●統計資料</p> |

| | | | |
|--|---|---|----------------|
| <p>活動の展開 ② 10分</p> | <p>〈発問〉これからオセアニア州で追究するテーマを決めよう。</p> <p>○本時の授業で分かったことを踏まえて、どのような学習課題が良いかを記述する。 個人</p> <p>○班活動や教師の全体でのやりとりで追究テーマを決める。 小集団 ⇒ 全体</p> | <p>・机間指導の際に良いテーマがかけている生徒のワークシートには線を引いてあげる。 ◎オセアニア州への関心を高め、自ら課題を見つけ意欲的に追究している。 【関心・意欲・態度】 ※Bに達しない生徒などについては下記参照</p> <p>・教師は事前に全体で追究するテーマを核として持っておき、そのテーマに収束するように導いていく。 ☆「学習の過程 意見交換・討論」との関わり</p> | <p>●ワークシート</p> |
| <p>〈オセアニア州の追究課題〉「なぜオセアニア州は、アジア州との結びつきを強めようとしたのか。」</p> | | | |
| <p>まとめ 2分</p> | <p>○評価カードに本時の意見や感想を書く。次時の授業についての確認をする。</p> | <p>・分かったことや気づいたことを具体的に記述させるようにする。</p> | <p>●評価カード</p> |

(3) 本時の記述内容（自分が考えた追究テーマ）の評価基準（A・B・C評価）

A評価（B評価の内容+自分だけの視点が含まれた追究テーマとなっている）

『なぜオセアニア州は、ヨーロッパ州ではなくアジア州との結びつきが強まっていったのか』

『オーストラリアの輸出品は、一人あたり GDP の高さとどのように結びついているのか』

『オーストラリアの産業は、鉱工業と農業のどちらの方がさかんであるのか』

B評価（授業の内容に結びついている自分の追究テーマとなっている）

『なぜオーストラリアには降水量が少ないのか』

『先住民族アボリジニとはどのような民族だろうか』

『オーストラリアの一人あたり GDP が高い理由はなぜか。』

『アジア州とはどのような結びつきか』

C評価（授業の内容とは直接結びつかない自分の追究テーマが書いてある）

『なぜオーストラリアにカンガルーが住んでいるのだろうか。』

⇒ **B 評価に向けての手立て** 「オーストラリア体験セット」の体験時ワークシートの中から授業の内容に結びつきそうな記述を見つけて深めさせる。

学習課題

オセアニア州はどのような地域であるのか調べよう

「オーストラリアはこのような地域に違いない」

↓ 生徒の発表のメモ ↓

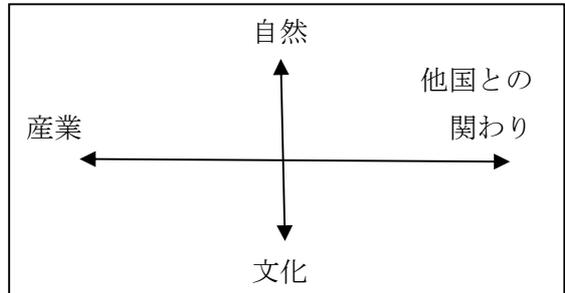
- ・人口は降水量の多い東部に集中している。
- ・ほとんどが乾燥帯に属している。 **乾燥大陸**
- ・あまり人が住むには適していない地域だ。

動画

～動画から分かることを書く～

- ・島大陸…面積小（でも日本の20倍）
- ・年間降水量小 ・東部は温暖
- ・西部は乾燥 「エアーズロック」

追究テーマを決めよう！



オセアニア州の追究課題

「なぜオセアニア州は、アジア州との結びつきを強めようとしたのか。」

オセアニア州ー強まるアジアとの結びつきー

1・オセアニア州をながめて (P92・93)



今日は「オーストラリア」のGDPを確認しましょう

| 国内総生産 (GDP) | 一人あたり GDP | おもな輸出品 |
|-------------|-----------|--------|
| | | |

今日の作業テーマ・オセアニア州の特色を、自然、文化、人々の生活の面からとらえましょう。

導入Q トレーシングペーパーで事前に作成したオーストラリアの降水量の資料を人口分布に重ねて、分かることを考えよう。 **協同**

⇒作業を通して「オーストラリアはこのような地域に違いない」と考えよう。

自分の意見

オーストラリアは…

に違いない。

自分の班の意見 班名 ()

| | | |
|--|--|--|
| | | |
|--|--|--|

他の班の意見・まとめ動画のメモ (簡条書きでOK)

| |
|--|
| |
|--|



作業1 気になる実物資料・統計資料をメモしよう! **基本**

資料名 ()

| |
|--|
| |
|--|

| |
|---------|
| 資料名 () |
|---------|

| |
|---------|
| 資料名 () |
|---------|



| | |
|----|--------------------------------|
| 課題 | これからオセアニア州の学習において追究するテーマを決めよう。 |
|----|--------------------------------|

①まずは自分が追究したいテーマを考えてみよう。

| |
|--|
| |
|--|

②様々な人との交流のメモ ～自分が気付かなかった意見をまとめよう～

| | | |
|--------|--------|--------|
| () さん | () さん | () さん |
| | | |

③最後に班の中でより良い追求テーマを考えてみよう。

| |
|--|
| |
|--|

※自分の班のテーマが以下の4つの項目のどれに近いかを考えて○をつけてホワイトボードを黒板に貼りにいくこと。(複数の項目に該当して○をつけても良い)

| | | | | | | |
|----|---|----|---|----|---|---------|
| 自然 | ・ | 文化 | ・ | 産業 | ・ | 他国との関わり |
|----|---|----|---|----|---|---------|

④他の班の追究したいテーマで気になったテーマをメモしよう。

| | |
|-------|-----------------------|
| () 班 | (自然 ・ 文化 ・ 産業 ・ 他国) |
| () 班 | (自然 ・ 文化 ・ 産業 ・ 他国) |
| () 班 | (自然 ・ 文化 ・ 産業 ・ 他国) |

～今日の1時間を通して、次回の授業から解き明かすテーマ～

| | |
|------|--|
| 学習問題 | |
|------|--|